

# テンプレトン世界債券ファンド

限定為替ヘッジコース

為替ヘッジなしコース

毎月分配型・為替ヘッジなしコース

(愛称：地球号)

限定為替ヘッジコース/為替ヘッジなしコース

第19期(決算日 2020年6月22日)

毎月分配型・為替ヘッジなしコース

第108期(決算日 2020年1月20日)

第109期(決算日 2020年2月20日)

第110期(決算日 2020年3月23日)

第111期(決算日 2020年4月20日)

第112期(決算日 2020年5月20日)

第113期(決算日 2020年6月22日)

## 運用報告書(全体版)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「テンプレトン世界債券ファンド」は2020年6月22日に決算(限定為替ヘッジコース/為替ヘッジなしコースは第19期、毎月分配型・為替ヘッジなしコースは第113期)を行いました。ここに、限定為替ヘッジコース/為替ヘッジなしコースの第19期、毎月分配型・為替ヘッジなしコースの第108期から第113期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



FRANKLIN  
TEMPLETON

フランクリン・テンプレトン・インベストメンツ株式会社

東京都港区六本木1丁目9番10号

〈お問い合わせ先〉

お客様ダイヤル

電話番号：03-6230-5699

受付時間：9:00~17:00

(土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除きます。)

<https://www.franklintempleton.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、世界各国(新興国を含む)の国債および政府機関債等に実質的な投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主な投資対象	主として、以下の外国投資証券および投資信託受益証券に投資を行います。 「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ-テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド(ルクセンブルク籍投資法人)」 「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」
組入制限	投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外への直接投資は行いません。 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時(限定為替ヘッジコース/為替ヘッジなしコースは毎年6月および12月の20日(休業日の場合は翌営業日)、毎月分配型・為替ヘッジなしコースは毎月20日(休業日の場合は翌営業日))に、基準価額水準、市況動向等を勘案して収益分配金額を決定します。 分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 なお、毎月分配型・為替ヘッジなしコースは6月および12月以外の月の決算時の分配については、原則として配当等収益を中心とするものとします。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 目 次

<b>テンプレートン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース</b> .....	<b>1</b>
最近5期の運用実績、当期中の基準価額の推移 .....	1
運用経過 .....	2
1万口当たりの費用明細 .....	7
売買及び取引の状況、利害関係人との取引状況等、第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況、組入資産の明細 .....	9
投資信託財産の構成 .....	10
資産、負債、元本及び基準価額の状況、損益の状況 .....	11
分配金のお知らせ .....	12
<b>テンプレートン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース</b> .....	<b>13</b>
最近5期の運用実績、当期中の基準価額の推移 .....	13
運用経過 .....	14
1万口当たりの費用明細 .....	19
売買及び取引の状況、利害関係人との取引状況等、第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況、組入資産の明細 .....	21
投資信託財産の構成 .....	22
資産、負債、元本及び基準価額の状況、損益の状況 .....	23
分配金のお知らせ .....	24
<b>テンプレートン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース</b> .....	<b>25</b>
最近30期の運用実績 .....	25
当作成期中の基準価額の推移 .....	26
運用経過 .....	27
1万口当たりの費用明細 .....	32
売買及び取引の状況、利害関係人との取引状況等、第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況、組入資産の明細 .....	34
投資信託財産の構成、資産、負債、元本及び基準価額の状況 .....	35
損益の状況 .....	36
分配金のお知らせ .....	38
<b>投資対象ファンド</b> .....	<b>39</b>
フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズ-テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンドの運用状況について .....	39
日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）の運用状況について .....	46

## テンブルトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 配 金	騰 落 率		
15期(2018年6月20日)	円 10,767	円 10	% △3.5	% 98.7	百万円 5,156
16期(2018年12月20日)	10,866	10	1.0	98.8	5,039
17期(2019年6月20日)	11,002	10	1.3	98.7	5,043
18期(2019年12月20日)	10,478	10	△4.7	99.4	4,543
19期(2020年6月22日)	10,015	10	△4.3	99.0	4,222

(注) 基準価額（1万円当たり）の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

(注) 投資信託証券組入比率は、純資産総額に対する比率です。

### ○当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	率	
(期 首) 2019年12月20日	円 10,478	% -	% 99.4	
12月末	10,491	0.1	98.8	
2020年1月末	10,500	0.2	98.8	
2月末	10,364	△1.1	99.0	
3月末	9,915	△5.4	99.2	
4月末	10,003	△4.5	99.2	
5月末	10,006	△4.5	99.4	
(期 末) 2020年6月22日	10,025	△4.3	99.0	

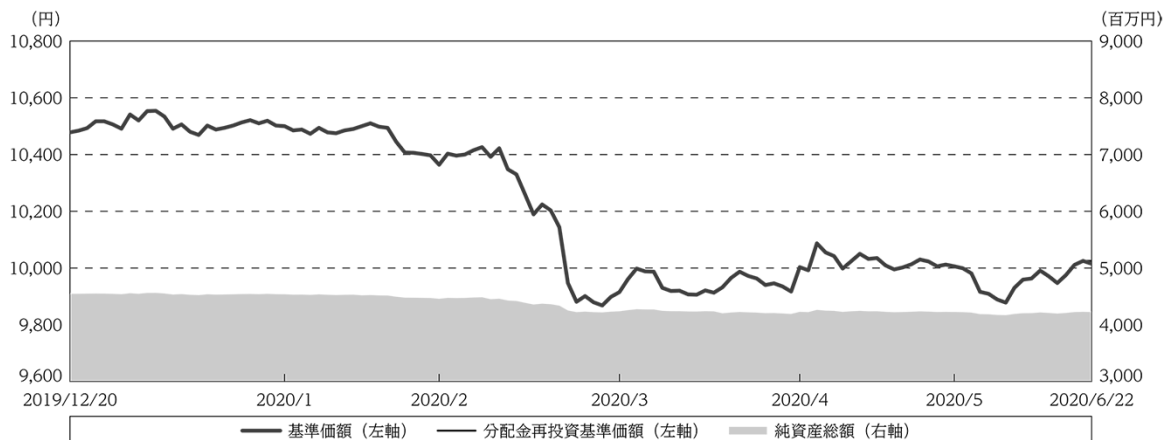
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○運用経過

(2019年12月21日～2020年6月22日)

### 期中の基準価額等の推移



期首：10,478円

期末：10,015円 (既払分配金(税込み)：10円)

騰落率：△ 4.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2019年12月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

### ○基準価額の主な変動要因

主な投資対象ファンドである「フランクリン・templton・インベストメント・ファンズーtemplton・グローバル・ボンド・ファンド」(以下、templton・グローバル・ボンド・ファンドといいます。)の円建て外国投資証券「Class I (Mdis) JPY-H1」(以下、JPY限定為替ヘッジ・クラスといいます。)の分配金再投資基準価額が値下がりしたことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は下落しました。詳しくは後掲の「**■投資環境**」をご参照ください。

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等からのインカムゲイン
- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等の価格変動
- ・投資を行っている先進国通貨および新興国通貨の対米ドルの価格変動
- ・米ドル売り円買いの為替予約取引等による為替ヘッジコスト

## 投資環境

### (債券市場)

当期、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う世界経済の悪化懸念を受け、米国10年国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。また、欧州や新興国の長期債の利回りも全般に低下しました。

米国の債券市場では、期首から2020年1月中旬にかけては、米中貿易交渉の進展を巡る観測などを背景にレンジ内での動きとなっていました。その後、新型コロナウイルスの感染が世界へと広がるにつれ、世界経済の成長減速が懸念され、投資家がリスク回避姿勢を強めたことなどを背景に安全資産とみられる債券への資金移動が急速に進みました。米国10年国債利回りは3月初に史上初となる1%割れとなった一方、3月3日に米連邦準備理事会（FRB）はリーマンショック時以来となる臨時の米連邦公開市場委員会（FOMC）を開催し、政策金利であるフェデラルファンド（FF）金利の誘導目標レンジを0.5%引き下げました。さらに同月中旬にも緊急のFOMCを開催し、1.0%の大幅な利下げを行い実質ゼロ金利としたことに加え、量的緩和政策の再開も決定しました。FRBはその後も様々かつ大規模な金融政策を打ち出す一方、米国政府も新型コロナウイルスの感染拡大に対応する財政政策を打ち出しました。米国10年国債利回りは期首の1.9%台から大きく低下し0.6%台で期末を迎えました。

欧州の債券市場でも、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に景気悪化懸念が強まる中、各国の債券利回りは低下しました。ドイツ10年国債利回りは期首の-0.2%台から低下し-0.4%台で期末を迎えました。

新興国の債券市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、一時は売られて大きく利回りが上昇しましたが、その後、主要先進国に合わせて各国が金融緩和姿勢を強めたことなどを背景に利回りは全般に低下しました。

### (外国為替市場)

当期、米ドルの対円相場は期首の1米ドル109円台半ばから期末には106円台後半へとドル安円高となりました。

2020年1月初、米軍によるイラン高官の殺害に伴う軍事的緊張の高まりなどを受けて、一時1米ドル107円台までドル安円高が進みました。2月に入ると、発表された1月の米供給管理協会（ISM）製造業指数が改善を示したことや中国当局による大規模な流動性供給への期待などを背景に一時1米ドル112円台までドル高円安が進む局面もありましたが、その後、新型コロナウイルスの世界的な感染が広がる中、投資家のリスク回避姿勢が強まり、世界的な株安とともに原油価格も急落、そのような環境下で円が買われ、3月上旬には一時1米ドル101円台までドル安円高が進みました。その後、金融市場全般が大きく変動する中で米ドルの需給がひっ迫し、一時1米ドル111円台まで米ドルが急反発したものの、FRBによる金融支援策や米国政府による財政政策などを受け再び米ドルが弱含む展開となり、結局、米ドルの対円相場は期首を下回る水準で期末を終

# FRANKLIN TEMPLETON®

えました。

ユーロは、米ドルに対してはやや堅調となりましたが、円に対してはやや軟調となりました。また、新興国通貨は全般に軟調となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(テンプレトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース)

「テンプレトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス」を高位に組み入れました。また、「日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)」受益証券への投資も行いました。

当期末の組入比率は、「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス」が98.9%、「日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)」が0.1%となりました。

(投資対象ファンド：テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス)

<国・地域配分>

主な国・地域別配分については、日本25.0%、韓国12.6%、メキシコ9.8%、ノルウェー8.8%、インドネシア8.1%となりました。

<通貨別配分>

主な通貨別配分については、米ドル57.7%、円54.2%、ノルウェークローネ8.8%となる一方で、ユーロ-34.3%、豪ドル-15.7%となりました。

<信用格付別配分>

主な配分については、投資適格75.2%、非投資適格11.5%、その他13.3%となりました。

(2020年5月末時点)

(投資対象ファンド：日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定))

主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し信託財産の安定的な成長を目指して安定運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載していません。

## 分配金

当期の収益分配につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案して次表の通りとさせていただきます。  
なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期
	2019年12月21日～ 2020年6月22日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.100%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,993

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

#### (テンプルトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース)

「テンプルトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス」および「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」へ投資を行います。「テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス」への投資比率は高位を維持する方針です。

#### (投資対象ファンド：テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPY限定為替ヘッジ・クラス)

##### ○市場見通し(2020年5月末時点)

世界は依然として新型コロナウイルスによる経済的な影響の初期段階にあることから、ポートフォリオでリスクを積み増すには時期尚早であると考えます。運用チームでは、直近のリスク資産の上昇は、市場では感染流行第二波や金融市場の二番底に対するリスクが過小評価されている表れであると考えます。現在は、安全な投資先と考える特定の資産に注目している一方、利回りの高い新興国において相対的に堅調な国内経済を有している国への選別的な投資を行っています。低金利やマイナス金利となっている先進国債券利回りは、今後も歴史的な低水準で推移することが見込まれ、債券価格の上昇余地は限定的であると考えており、リターン  
の源泉は別の手段で獲得する方針です。

ポートフォリオでは、脆弱な資産クラスの価格との相関を低める一方、相対的に高いインカムの獲得と元本の確保を目指しています。また、キャッシュおよび流動性の高い米国短期国債のポジションを積み上げること

# FRANKLIN TEMPLETON®

で、今後投資機会が訪れた際に迅速に対応できるようにしています。

資産クラスによっては、2008年の世界金融危機以降のようなV字回復を期待した動きとなっている市場があります。しかし、運用チームではより緩やかな回復を想定しており、持続的な回復局面に至るまでに多くの上昇や調整が繰り返されるものと考えます。新型コロナウイルスのパンデミックはいつまで継続するのか、また経済活動再開後に感染の再拡大が生じるのか、などについて予想することは依然として困難です。

新型コロナウイルスのパンデミック前の世界が既に不安定な状況であったということが、現在の危機的状況をさらに複雑なものとしています。具体的には、地政学的リスクの高まり、貿易摩擦、政治の二極化、先進国における際限のない財政赤字、主要国における低金利環境の継続、そしてクレジットセクターの過剰債務などといった要素が経済あるいは金融ショックに対して脆弱な環境を創り出したと言えます。運用チームでは過去数四半期にわたりこれらのリスクに懸念を抱いてきており、ポートフォリオでは昨年より安全資産を積み増す一方、様々な新興国市場におけるリスクエクスポージャーの調整を行ってきました。新型コロナウイルス感染拡大や原油価格の急落などを予想していたわけではありませんが、不安定な市場環境がこのような予測できない事象によって脆さを露呈することを懸念していました。

## ○運用方針

全体として、ポートフォリオのデュレーションを短めに維持します。イールドカーブのスティープ化を受け、米国債に対するマイナスデュレーションのポジションを解消し、現在は流動性および利回りの観点から米国債の短期ゾーンを選好しています。また、強固なファンダメンタルズを有し魅力的なリスク調整後の利回りを有する国の通貨を選別的に保有しています。一方、それらのリスクに対し、円やスイスフランといった安全資産と考える通貨を持つことでポートフォリオ全体のリスクバランスを調整しています。また、新興国通貨全般のリスクに対するヘッジとして豪ドルを売り建てていることに加え、韓国ウォン、メキシコペソ、ブラジルレアルについては各々為替ヘッジを行っています。また、大幅に割高となっているうえ、債務不履行や破綻に対し脆弱であると考えられるクレジット市場への投資は回避しています。全体として、割高で今も継続する経済への影響に対して脆弱な資産クラスを回避し、ポートフォリオを分散させてリスクの低減を図っていく方針です。

## (投資対象ファンド：日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定))

今後も引き続き、主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し、信託財産の安定的な成長をめざして安定運用を行う方針です。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年12月21日～2020年6月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 55	% 0.542	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(11)	(0.111)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(43)	(0.417)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.014)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.004	(b)その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕}$
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.004)	その他費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	・その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	55	0.546	
期中の平均基準価額は、10,213円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

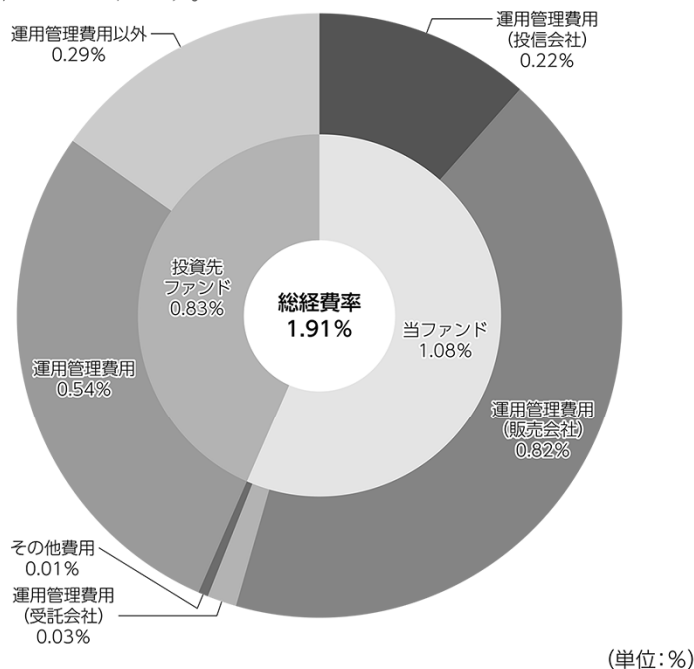
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## (参考情報)

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



総経費率(①+②+③)	1.91
①当ファンドの費用の比率	1.08
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.29

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年12月21日～2020年6月22日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY-H1	122,432	92,823	218,503	165,000

(注) 金額は受渡し代金です。  
(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2019年12月21日～2020年6月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年12月21日～2020年6月22日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年6月22日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口数	口数	評価額	比率
日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)				千円	%
フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY-H1		2,703,566	2,703,566	2,840	0.1
合 計		5,775,222	5,679,152	4,177,527	98.9
合 計		8,478,788	8,382,718	4,180,368	99.0

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。  
(注) 単位未満は切捨てです。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○投資信託財産の構成

(2020年6月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,840	% 0.1
投資証券	4,177,527	98.2
コール・ローン等、その他	72,640	1.7
投資信託財産総額	4,253,007	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,253,007,489
コール・ローン等	72,638,989
投資信託受益証券(評価額)	2,840,907
投資証券(評価額)	4,177,527,593
(B) 負債	30,014,493
未払収益分配金	4,216,468
未払解約金	1,967,671
未払信託報酬	23,660,383
未払利息	189
その他未払費用	169,782
(C) 純資産総額(A-B)	4,222,992,996
元本	4,216,468,435
次期繰越損益金	6,524,561
(D) 受益権総口数	4,216,468,435口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,015円

○損益の状況 (2019年12月21日～2020年6月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	91,524,142
受取配当金	91,542,292
支払利息	△ 18,150
(B) 有価証券売買損益	△ 257,934,031
売買益	5,379,104
売買損	△ 263,313,135
(C) 信託報酬等	△ 23,839,741
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 190,249,630
(E) 前期繰越損益金	△ 161,791,511
(F) 追加信託差損益金	362,782,170
(配当等相当額)	( 669,522,351)
(売買損益相当額)	(△ 306,740,181)
(G) 計(D+E+F)	10,741,029
(H) 収益分配金	△ 4,216,468
次期繰越損益金(G+H)	6,524,561
追加信託差損益金	362,782,170
(配当等相当額)	( 669,522,351)
(売買損益相当額)	(△ 306,740,181)
分配準備積立金	1,014,395,674
繰越損益金	△1,370,653,283

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- (1) 期首元本額は4,336,389,090円、期中追加設定元本額は25,589,018円、期中一部解約元本額は145,509,673円です。  
(2) 期末における1口当たり純資産額は1.0015円です。

(分配金の計算過程)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(67,684,401円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(669,522,351円)及び分配準備積立金(950,927,741円)より、分配対象収益は、1,688,134,493円(1万口当たり4,003円)であり、うち4,216,468円(1万口当たり10円)を分配金額としております。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	10円
------------------	-----

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## テンプルトン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		期 騰 落 率	投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額
		税 分 込 配 金	騰 落 率			
15期(2018年6月20日)	円 14,735		円 10	% △4.7	% 98.8	百万円 5,145
16期(2018年12月20日)	15,388		10	4.5	98.8	5,014
17期(2019年6月20日)	15,190		10	△1.2	98.7	4,776
18期(2019年12月20日)	14,830		10	△2.3	99.4	4,452
19期(2020年6月22日)	14,006		10	△5.5	99.0	3,915

(注) 基準価額（1万円当たり）の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

(注) 投資信託証券組入比率は、純資産総額に対する比率です。

## ○当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 券 率 組 入 比
		騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2019年12月20日	円 14,830	% -	% 99.4	
12月末	14,878	0.3	98.7	
2020年1月末	14,853	0.2	98.8	
2月末	14,782	△0.3	99.1	
3月末	13,943	△6.0	99.2	
4月末	13,944	△6.0	99.4	
5月末	14,084	△5.0	99.5	
(期 末) 2020年6月22日	14,016	△5.5	99.0	

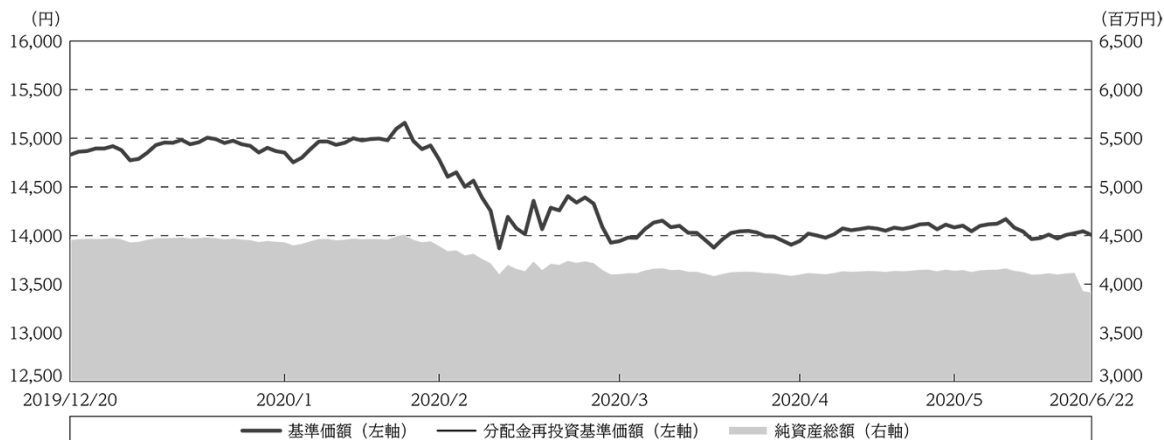
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○運用経過

(2019年12月21日～2020年6月22日)

### 期中の基準価額等の推移



期首：14,830円

期末：14,006円 (既払分配金(税込み):10円)

騰落率：△ 5.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2019年12月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

### ○基準価額の主な変動要因

主な投資対象ファンドである「フランクリン・템플トン・インベストメント・ファンズ-テムプレトン・グローバル・ボンド・ファンド」(以下、テムプレトン・グローバル・ボンド・ファンドといいます。)の円建て外国投資証券「Class I (Mdis) JPY」(以下、JPYクラスといいます。)の分配金再投資基準価額が値下がりしたことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は下落しました。詳しくは後掲の「■投資環境」をご参照ください。



なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等からのインカムゲイン
- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等の価格変動
- ・投資を行っている先進国通貨および新興国通貨の対米ドルの価格変動

## 投資環境

### (債券市場)

当期、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う世界経済の悪化懸念を受け、米国10年国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。また、欧州や新興国の長期債の利回りも全般に低下しました。

米国の債券市場では、期首から2020年1月中旬にかけては、米中貿易交渉の進展を巡る観測などを背景にレンジ内での動きとなっていました。その後、新型コロナウイルスの感染が世界へと広がるにつれ、世界経済の成長減速が懸念され、投資家がリスク回避姿勢を強めたことなどを背景に安全資産とみられる債券への資金移動が急速に進みました。米国10年国債利回りは3月初に史上初となる1%割れとなった一方、3月3日に米連邦準備理事会（FRB）はリーマンショック時以来となる臨時の米連邦公開市場委員会（FOMC）を開催し、政策金利であるフェデラルファンド（FF）金利の誘導目標レンジを0.5%引き下げました。さらに同月中旬にも緊急のFOMCを開催し、1.0%の大幅な利下げを行い実質ゼロ金利としたことに加え、量的緩和政策の再開も決定しました。FRBはその後も様々かつ大規模な金融政策を打ち出す一方、米国政府も新型コロナウイルスの感染拡大に対応する財政政策を打ち出しました。米国10年国債利回りは期首の1.9%台から大きく低下し0.6%台で期末を迎えました。

欧州の債券市場でも、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に景気悪化懸念が強まる中、各国の債券利回りは低下しました。ドイツ10年国債利回りは期首の-0.2%台から低下し-0.4%台で期末を迎えました。

新興国の債券市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、一時は売られて大きく利回りが上昇しましたが、その後、主要先進国に合わせて各国が金融緩和姿勢を強めたことなどを背景に利回りは全般に低下しました。

### (外国為替市場)

当期、米ドルの対円相場は期首の1米ドル109円台半ばから期末には106円台後半へとドル安円高となりました。

2020年1月初、米軍によるイラン高官の殺害に伴う軍事的緊張の高まりなどを受けて、一時1米ドル107円台までドル安円高が進みました。2月に入ると、発表された1月の米供給管理協会（ISM）製造業指数が改善を示したことや中国当局による大規模な流動性供給への期待などを背景に一時1米ドル112円台までドル高円安が進む局面もありましたが、その後、新型コロナウイルスの世界的な感染が広がる中、投資家のリスク回避姿勢が強まり、世界的な株安とともに原油価格も急落、そのような環境下で円が買われ、3月上旬には一時1米ドル101円台までドル安円高が進みました。その後、金融市場全般が大きく変動する中で米ドルの需給がひっ迫し、一時1米ドル111円台まで米ドルが急反発したものの、FRBによる金融支援策や米国政府による財政政策などを受け再び米ドルが弱含む展開となり、結局、米ドルの対円相場は期首を下回る水準で期末を終えました。

# FRANKLIN TEMPLETON®

ユーロは、米ドルに対してはやや堅調となりましたが、円に対してはやや軟調となりました。また、新興国通貨は全般に軟調となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(テンプレトン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース)

「テンプレトン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」を高位に組み入れました。また、「日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)」受益証券への投資も行いました。

当期末の組入比率は、「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」が98.7%、「日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)」が0.3%となりました。

(投資対象ファンド：テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス)

<国・地域配分>

主な国・地域別配分については、日本25.0%、韓国12.6%、メキシコ9.8%、ノルウェー8.8%、インドネシア8.1%となりました。

<通貨別配分>

主な通貨別配分については、米ドル57.7%、円54.2%、ノルウェークローネ8.8%となる一方で、ユーロ34.3%、豪ドル15.7%となりました。

<信用格付別配分>

主な配分については、投資適格75.2%、非投資適格11.5%、その他13.3%となりました。

(2020年5月末時点)

(投資対象ファンド：日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定))

主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し信託財産の安定的な成長を目指して安定運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載していません。

## 分配金

当期の収益分配につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案して次表の通りとさせていただきます。  
なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期
	2019年12月21日～ 2020年6月22日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.071%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,413

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

#### (テンプルトン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース)

「テンプルトン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」および「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」へ投資を行います。「テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」への投資比率は高位を維持する方針です。

#### (投資対象ファンド：テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス)

##### ○市場見通し(2020年5月末時点)

世界は依然として新型コロナウイルスによる経済的な影響の初期段階にあることから、ポートフォリオでリスクを積み増すには時期尚早であると考えます。運用チームでは、直近のリスク資産の上昇は、市場では感染流行第二波や金融市場の二番底に対するリスクが過小評価されている表れであると考えます。現在は、安全な投資先と考える特定の資産に注目している一方、利回りの高い新興国において相対的に堅調な国内経済を有している国への選別的な投資を行っています。低金利やマイナス金利となっている先進国債券利回りは、今後も歴史的な低水準で推移することが見込まれ、債券価格の上昇余地は限定的であると考えており、リターン源泉は別の手段で獲得する方針です。

ポートフォリオでは、脆弱な資産クラスの価格との相関を低める一方、相対的に高いインカムの獲得と元本の確保を目指しています。また、キャッシュおよび流動性の高い米国短期国債のポジションを積み上げること

# FRANKLIN TEMPLETON®

で、今後投資機会が訪れた際に迅速に対応できるようにしています。

資産クラスによっては、2008年の世界金融危機以降のようなV字回復を期待した動きとなっている市場があります。しかし、運用チームではより緩やかな回復を想定しており、持続的な回復局面に至るまでに多くの上昇や調整が繰り返されるものと考えます。新型コロナウイルスのパンデミックはいつまで継続するのか、また経済活動再開後に感染の再拡大が生じるのか、などについて予想することは依然として困難です。

新型コロナウイルスのパンデミック前の世界が既に不安定な状況であったということが、現在の危機的状況をさらに複雑なものとしています。具体的には、地政学的リスクの高まり、貿易摩擦、政治の二極化、先進国における際限のない財政赤字、主要国における低金利環境の継続、そしてクレジットセクターの過剰債務などといった要素が経済あるいは金融ショックに対して脆弱な環境を創り出したと言えます。運用チームでは過去数四半期にわたりこれらのリスクに懸念を抱いてきており、ポートフォリオでは昨年より安全資産を積み増す一方、様々な新興国市場におけるリスクエクスポージャーの調整を行ってきました。新型コロナウイルス感染拡大や原油価格の急落などを予想していたわけではありませんが、不安定な市場環境がこのような予測できない事象によって脆さを露呈することを懸念していました。

## ○運用方針

全体として、ポートフォリオのデュレーションを短めに維持します。イールドカーブのスティープ化を受け、米国債に対するマイナスデュレーションのポジションを解消し、現在は流動性および利回りの観点から米国債の短期ゾーンを選好しています。また、強固なファンダメンタルズを有し魅力的なリスク調整後の利回りを有する国の通貨を選別的に保有しています。一方、それらのリスクに対し、円やスイスフランといった安全資産と考える通貨を持つことでポートフォリオ全体のリスクバランスを調整しています。また、新興国通貨全般のリスクに対するヘッジとして豪ドルを売り建てていることに加え、韓国ウォン、メキシコペソ、ブラジルレアルについては各々為替ヘッジを行っています。また、大幅に割高となっているうえ、債務不履行や破綻に対し脆弱であると考えられるクレジット市場への投資は回避しています。全体として、割高で今も継続する経済への影響に対して脆弱な資産クラスを回避し、ポートフォリオを分散させてリスクの低減を図っていく方針です。

## (投資対象ファンド：日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）)

今後も引き続き、主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し、信託財産の安定的な成長をめざして安定運用を行う方針です。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年12月21日～2020年6月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(16)	(0.111)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(60)	(0.417)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.014)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.004	(b) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]}$
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.004)	その他費用 ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	・ その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	79	0.546	
期中の平均基準価額は、14,414円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。  
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

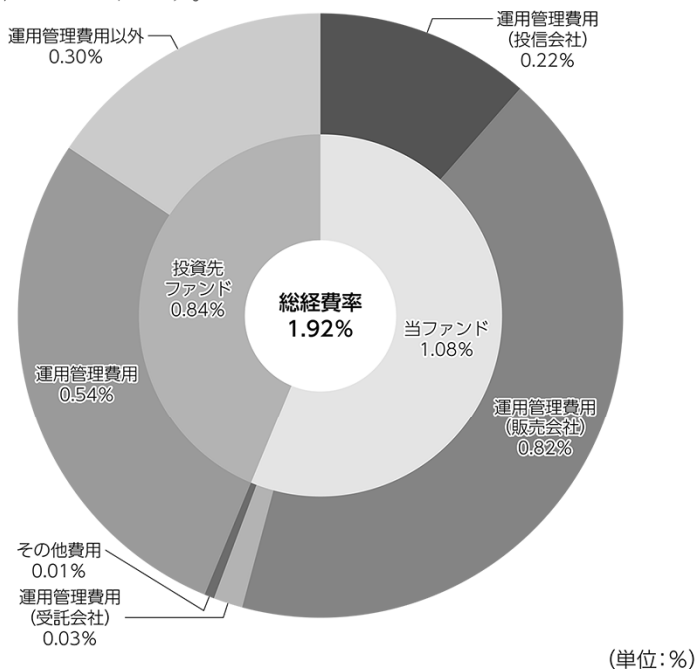
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## (参考情報)

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率(①+②+③)	1.92
①当ファンドの費用の比率	1.08
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.30

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年12月21日～2020年6月22日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY	86,265	90,072	322,003	332,000

(注) 金額は受渡し代金です。  
(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2019年12月21日～2020年6月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年12月21日～2020年6月22日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年6月22日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)		11,202,737	11,202,737	11,771	0.3
フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ-テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY		4,057,033	3,821,295	3,864,552	98.7
合 計		15,259,770	15,024,032	3,876,324	99.0

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。  
(注) 単位未満は切捨てです。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○投資信託財産の構成

(2020年6月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 11,771	% 0.3
投資証券	3,864,552	93.4
コール・ローン等、その他	262,229	6.3
投資信託財産総額	4,138,552	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。



○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月22日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	4,138,552,834
コール・ローン等	262,228,584
投資信託受益証券(評価額)	11,771,836
投資証券(評価額)	3,864,552,414
(B) 負債	222,788,079
未払収益分配金	2,795,855
未払解約金	196,699,405
未払信託報酬	23,126,192
未払利息	682
その他未払費用	165,945
(C) 純資産総額(A-B)	3,915,764,755
元本	2,795,855,211
次期繰越損益金	1,119,909,544
(D) 受益権総口数	2,795,855,211口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,006円

○損益の状況 (2019年12月21日～2020年6月22日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	85,672,800
受取配当金	85,690,323
支払利息	△ 17,523
(B) 有価証券売買損益	△ 288,106,073
売買益	19,591,935
売買損	△ 307,698,008
(C) 信託報酬等	△ 23,300,798
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 225,734,071
(E) 前期繰越損益金	120,184,219
(F) 追加信託差損益金	1,228,255,251
(配当等相当額)	( 958,438,139)
(売買損益相当額)	( 269,817,112)
(G) 計(D+E+F)	1,122,705,399
(H) 収益分配金	△ 2,795,855
次期繰越損益金(G+H)	1,119,909,544
追加信託差損益金	1,228,255,251
(配当等相当額)	( 958,438,139)
(売買損益相当額)	( 269,817,112)
分配準備積立金	1,393,868,773
繰越損益金	△1,502,214,480

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

(1) 期首元本額は3,002,477,506円、期中追加設定元本額は55,607,281円、期中一部解約元本額は262,229,576円です。

(2) 期末における1口当たり純資産額は1.4006円です。

(分配金の計算過程)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(62,372,002円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(958,438,139円)及び分配準備積立金(1,334,292,626円)より、分配対象収益は、2,355,102,767円(1万口当たり8,423円)であり、うち2,795,855円(1万口当たり10円)を分配金額としております。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	10円
------------------	-----

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

テンブルトン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		投 資 信 託 純 資 産 組 入 比 率 総 額
		税 分 込 配 金	期 騰 落 中 率	
	円	円	%	%
84期(2018年1月22日)	13,174	50	△1.3	98.8
85期(2018年2月20日)	12,402	50	△5.5	98.7
86期(2018年3月20日)	12,255	50	△0.8	99.2
87期(2018年4月20日)	12,502	50	2.4	98.7
88期(2018年5月21日)	12,670	50	1.7	98.7
89期(2018年6月20日)	12,449	50	△1.3	98.7
90期(2018年7月20日)	12,871	50	3.8	98.8
91期(2018年8月20日)	12,516	50	△2.4	98.7
92期(2018年9月20日)	12,422	50	△0.4	98.7
93期(2018年10月22日)	12,801	50	3.5	98.8
94期(2018年11月20日)	12,725	50	△0.2	98.7
95期(2018年12月20日)	12,707	50	0.3	98.8
96期(2019年1月21日)	12,593	50	△0.5	98.7
97期(2019年2月20日)	12,686	50	1.1	98.6
98期(2019年3月20日)	12,783	50	1.2	98.7
99期(2019年4月22日)	12,859	50	1.0	98.6
100期(2019年5月20日)	12,353	50	△3.5	98.4
101期(2019年6月20日)	12,225	50	△0.6	98.7
102期(2019年7月22日)	12,320	50	1.2	98.7
103期(2019年8月20日)	11,624	50	△5.2	98.8
104期(2019年9月20日)	11,629	50	0.5	98.9
105期(2019年10月21日)	11,591	50	0.1	98.8
106期(2019年11月20日)	11,563	50	0.2	98.8
107期(2019年12月20日)	11,660	50	1.3	98.9
108期(2020年1月20日)	11,748	50	1.2	98.7
109期(2020年2月20日)	11,768	50	0.6	98.7
110期(2020年3月23日)	11,188	50	△4.5	99.0
111期(2020年4月20日)	10,858	50	△2.5	98.8
112期(2020年5月20日)	10,836	50	0.3	98.7
113期(2020年6月22日)	10,738	50	△0.4	98.9

(注) 基準価額(1万円当たり)の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

(注) 投資信託証券組入比率は、純資産総額に対する比率です。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○当作成期中の基準価額の推移

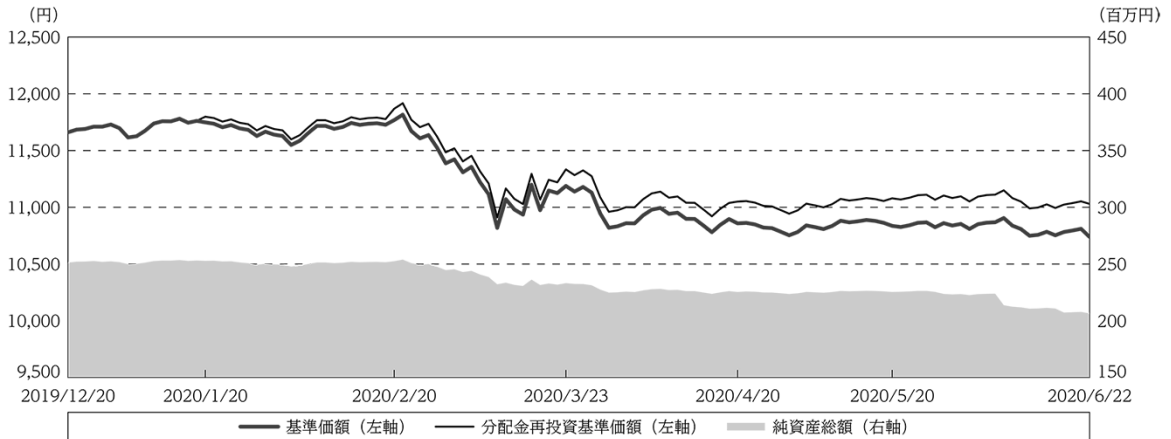
決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 入 比 率
			騰 落 率	率	
第108期	(期 首) 2019年12月20日	円		%	%
	12月末	11,660		—	98.9
	12月末	11,697		0.3	99.0
第109期	(期 末) 2020年1月20日	11,798		1.2	98.7
	(期 首) 2020年1月20日	11,748		—	98.7
	1月末	11,628		△1.0	99.0
第110期	(期 末) 2020年2月20日	11,818		0.6	98.7
	(期 首) 2020年2月20日	11,768		—	98.7
	2月末	11,524		△2.1	98.6
第111期	(期 末) 2020年3月23日	11,238		△4.5	99.0
	(期 首) 2020年3月23日	11,188		—	99.0
	3月末	10,832		△3.2	98.8
第112期	(期 末) 2020年4月20日	10,908		△2.5	98.8
	(期 首) 2020年4月20日	10,858		—	98.8
	4月末	10,782		△0.7	98.2
第113期	(期 末) 2020年5月20日	10,886		0.3	98.7
	(期 首) 2020年5月20日	10,836		—	98.7
	5月末	10,839		0.0	98.6
	(期 末) 2020年6月22日	10,788		△0.4	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2019年12月21日～2020年6月22日)

作成期間中の基準価額等の推移



第108期首：11,660円

第113期末：10,738円 (既払分配金(税込み)：300円)

騰落率：△ 5.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年12月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

○基準価額の主な変動要因

主な投資対象ファンドである「フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズーテンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド」(以下、テンブルトン・グローバル・ボンド・ファンドといいます。)の円建て外国投資証券「Class I (Mdis) JPY」(以下、JPYクラスといいます。)の分配金再投資基準価額が値下がりしたことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は下落しました。詳しくは後掲の「■投資環境」をご参照ください。

# FRANKLIN TEMPLETON®

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等からのインカムゲイン
- ・投資を行っている新興国を含む世界各国の国債、政府機関債等の価格変動
- ・投資を行っている先進国通貨および新興国通貨の対米ドルの価格変動

## 投資環境

### (債券市場)

当作成期、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う世界経済の悪化懸念を受け、米国10年国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。また、欧州や新興国の長期債の利回りも全般に低下しました。

米国の債券市場では、当作成期首から2020年1月中旬にかけては、米中貿易交渉の進展を巡る観測などを背景にレンジ内での動きとなっていました。その後、新型コロナウイルスの感染が世界へと広がるにつれ、世界経済の成長減速が懸念され、投資家がリスク回避姿勢を強めたことなどを背景に安全資産とみられる債券への資金移動が急速に進みました。米国10年国債利回りは3月初に史上初となる1%割れとなった一方、3月3日に米連邦準備理事会(FRB)はリーマンショック時以来となる臨時の米連邦公開市場委員会(FOMC)を開催し、政策金利であるフェデラルファンド(FF)金利の誘導目標レンジを0.5%引き下げました。さらに同月中旬にも緊急のFOMCを開催し、1.0%の大幅な利下げを行い実質ゼロ金利としたことに加え、量的緩和政策の再開も決定しました。FRBはその後も様々かつ大規模な金融政策を打ち出す一方、米国政府も新型コロナウイルスの感染拡大に対応する財政政策を打ち出しました。米国10年国債利回りは当作成期首の1.9%台から大きく低下し0.6%台で当作成期末を迎えました。

欧州の債券市場でも、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に景気悪化懸念が強まる中、各国の債券利回りは低下しました。ドイツ10年国債利回りは当作成期首の-0.2%台から低下し-0.4%台で当作成期末を迎えました。

新興国の債券市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、一時は売られて大きく利回りが上昇しましたが、その後、主要先進国に合わせて各国が金融緩和姿勢を強めたことなどを背景に利回りは全般に低下しました。

### (外国為替市場)

当作成期、米ドルの対円相場は当作成期首の1米ドル109円台半ばから当作成期末には106円台後半へとドル安円高となりました。

2020年1月初、米軍によるイラン高官の殺害に伴う軍事的緊張の高まりなどを受けて、一時1米ドル107円台までドル安円高が進みました。2月に入ると、発表された1月の米供給管理協会(ISM)製造業指数が改善を示したことや中国当局による大規模な流動性供給への期待などを背景に一時1米ドル112円台までドル高円安が進む局面もありましたが、その後、新型コロナウイルスの世界的な感染が広がる中、投資家のリスク回避姿勢が強まり、世界的な株安とともに原油価格も急落、そのような環境下で円が買われ、3月上旬には一時1米ドル101円台までドル安円高が進みました。その後、金融市場全般が大きく変動する中で米ドルの需給がひっ迫し、一時1米ドル111円台まで米ドルが急反発したものの、FRBによる金融支援策や米国政府による財政政策などを受け再び米ドルが弱含む展開となり、結局、米ドルの対円相場は当作成期首を下回る水準で当

作成期末を終えました。

ユーロは、米ドルに対してはやや堅調となりましたが、円に対してはやや軟調となりました。また、新興国通貨は全般に軟調となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(テンプレートン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース)

「テンプレートン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」を高位に組み入れました。また、「日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）」受益証券への投資も行いました。

当作成期末の組入比率は、「テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」が98.5%、「日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）」が0.4%となりました。

(投資対象ファンド：テンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス)

<国・地域配分>

主な国・地域別配分については、日本25.0%、韓国12.6%、メキシコ9.8%、ノルウェー8.8%、インドネシア8.1%となりました。

<通貨別配分>

主な通貨別配分については、米ドル57.7%、円54.2%、ノルウェークローネ8.8%となる一方で、ユーロ34.3%、豪ドル15.7%となりました。

<信用格付別配分>

主な配分については、投資適格75.2%、非投資適格11.5%、その他13.3%となりました。

(2020年5月末時点)

(投資対象ファンド：日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）)

主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し信託財産の安定的な成長を目指して安定運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載しておりません。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 分配金

当作成期の収益分配は次表の通りです。第108期から第112期については、配当等収益を中心に分配を行いました。第113期につきましては、配当等収益に加え、基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定いたしました。なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
	2019年12月21日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年2月20日	2020年2月21日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月20日	2020年4月21日～ 2020年5月20日	2020年5月21日～ 2020年6月22日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率)	0.424%	0.423%	0.445%	0.458%	0.459%	0.463%
当期の収益	45	43	35	28	19	16
当期の収益以外	4	6	14	21	30	33
翌期繰越分配対象額	6,852	6,845	6,831	6,809	6,778	6,745

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

### (テンプレトン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース)

「テンプレトン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース」は、当ファンドの運用の基本方針にもとづき、「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」および「日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」へ投資を行います。「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス」への投資比率は高位を維持する方針です。

### (投資対象ファンド：テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド JPYクラス)

#### ○市場見通し(2020年5月末時点)

世界は依然として新型コロナウイルスによる経済的な影響の初期段階にあることから、ポートフォリオでリスクを積み増すには時期尚早であると考えます。運用チームでは、直近のリスク資産の上昇は、市場では感染流行第二波や金融市場の二番底に対するリスクが過小評価されている表れであると考えます。現在は、安全な投資先と考える特定の資産に注目している一方、利回りの高い新興国において相対的に堅調な国内経済を有している国への選別的な投資を行っています。低金利やマイナス金利となっている先進国債券利回りは、今後も歴史的な低水準で推移することが見込まれ、債券価格の上昇余地は限定的であると考えており、リターン源泉は別の手段で獲得する方針です。

ポートフォリオでは、脆弱な資産クラスの価格との相関を低める一方、相対的に高いインカムの獲得と元本



の確保を目指しています。また、キャッシュおよび流動性の高い米国短期国債のポジションを積み上げることで、今後投資機会が訪れた際に迅速に対応できるようにしています。

資産クラスによっては、2008年の世界金融危機以降のようなV字回復を期待した動きとなっている市場があります。しかし、運用チームではより緩やかな回復を想定しており、持続的な回復局面に至るまでに多くの上昇や調整が繰り返されるものと考えます。新型コロナウイルスのパンデミックはいつまで継続するのか、また経済活動再開後に感染の再拡大が生じるのか、などについて予想することは依然として困難です。

新型コロナウイルスのパンデミック前の世界が既に不安定な状況であったということが、現在の危機的状況をさらに複雑なものとしています。具体的には、地政学的リスクの高まり、貿易摩擦、政治の二極化、先進国における際限のない財政赤字、主要国における低金利環境の継続、そしてクレジットセクターの過剰債務などといった要素が経済あるいは金融ショックに対して脆弱な環境を創り出したと言えます。運用チームでは過去数四半期にわたりこれらのリスクに懸念を抱いてきており、ポートフォリオでは昨年より安全資産を積み増す一方、様々な新興国市場におけるリスクエクスポージャーの調整を行ってきました。新型コロナウイルス感染拡大や原油価格の急落などを予想していたわけではありませんが、不安定な市場環境がこのような予測できない事象によって脆さを露呈することを懸念していました。

## ○運用方針

全体として、ポートフォリオのデュレーションを短めに維持します。イールドカーブのスティープ化を受け、米国債に対するマイナスデュレーションのポジションを解消し、現在は流動性および利回りの観点から米国債の短期ゾーンを選好しています。また、強固なファンダメンタルズを有し魅力的なリスク調整後の利回りを有する国の通貨を選別的に保有しています。一方、それらのリスクに対し、円やスイスフランといった安全資産と考える通貨を持つことでポートフォリオ全体のリスクバランスを調整しています。また、新興国通貨全般のリスクに対するヘッジとして豪ドルを売り建てていることに加え、韓国ウォン、メキシコペソ、ブラジルレアルについては各々為替ヘッジを行っています。また、大幅に割高となっているうえ、債務不履行や破綻に対し脆弱であると考えられるクレジット市場への投資は回避しています。全体として、割高で今も継続する経済への影響に対して脆弱な資産クラスを回避し、ポートフォリオを分散させてリスクの低減を図っていく方針です。

## (投資対象ファンド：日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）)

今後も引き続き、主として日本短期債券マザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し、信託財産の安定的な成長をめざして安定運用を行う方針です。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年12月21日～2020年6月22日)

項 目	第108期～第113期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 61	% 0.542	(a) 信託報酬 = [作成期間の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(12)	(0.111)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(47)	(0.417)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.014)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.004	(b) その他費用 = $\frac{[\text{作成期間のその他費用}]}{[\text{作成期間の平均受益権口数}]}$
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.004)	その他費用 ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	・ その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	61	0.546	
作成期間の平均基準価額は、11,217円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

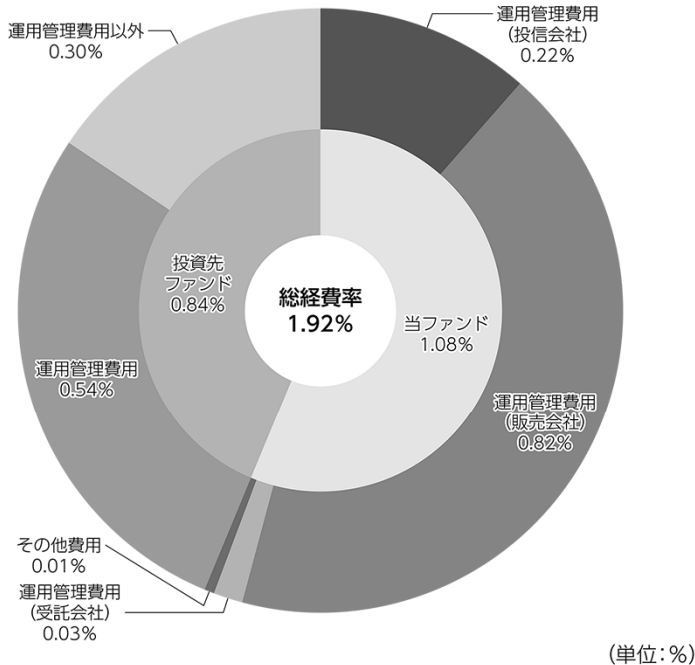
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率(①+②+③)	1.92
①当ファンドの費用の比率	1.08
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.30

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○売買及び取引の状況

(2019年12月21日～2020年6月22日)

### 投資信託証券

銘柄		第108期～第113期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズ-テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY	4,760	4,973	31,027	32,000

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年12月21日～2020年6月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年12月21日～2020年6月22日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2020年6月22日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第107期末		第113期末	
		口数	金額	口数	評価額
	日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)	785,042	785,042	824	0.4
	フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズ-テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンドClass I (Mdis) JPY	227,392	201,124	203,401	98.5
合	計	1,012,434	986,166	204,226	98.9

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○投資信託財産の構成

(2020年6月22日現在)

項 目	第113期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	824	0.4
投資証券	203,401	98.0
コール・ローン等、その他	3,378	1.6
投資信託財産総額	207,603	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末
	2020年1月20日現在	2020年2月20日現在	2020年3月23日現在	2020年4月20日現在	2020年5月20日現在	2020年6月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	254,057,280	253,748,652	237,220,502	226,519,325	226,558,654	207,603,509
コール・ローン等	3,638,605	4,596,306	6,429,333	3,873,110	4,120,108	3,377,326
投資信託受益証券(評価額)	827,669	828,454	824,372	823,509	824,529	824,922
投資証券(評価額)	248,591,006	248,323,892	229,966,797	221,822,706	221,614,017	203,401,261
未収入金	1,000,000	—	—	—	—	—
(B) 負債	1,307,258	1,313,811	4,121,442	1,225,616	1,239,612	1,174,391
未払収益分配金	1,075,737	1,072,543	1,041,709	1,037,471	1,039,649	961,188
未払解約金	923	11,736	2,852,072	2	2	—
未払信託報酬	228,961	227,905	226,054	186,818	198,551	211,691
未払利息	8	11	—	—	—	8
その他未払費用	1,629	1,616	1,607	1,325	1,410	1,504
(C) 純資産総額(A-B)	252,750,022	252,434,841	233,099,060	225,293,709	225,319,042	206,429,118
元本	215,147,526	214,508,761	208,341,884	207,494,318	207,929,980	192,237,617
次期繰越損益金	37,602,496	37,926,080	24,757,176	17,799,391	17,389,062	14,191,501
(D) 受益権総口数	215,147,526口	214,508,761口	208,341,884口	207,494,318口	207,929,980口	192,237,617口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,748円	11,768円	11,188円	10,858円	10,836円	10,738円

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○損益の状況

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
	2019年12月21日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年2月20日	2020年2月21日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月20日	2020年4月21日～ 2020年5月20日	2020年5月21日～ 2020年6月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,057,275	1,068,925	975,424	770,441	532,572	535,507
受取配当金	1,057,527	1,069,165	975,681	770,467	532,631	535,865
支払利息	△ 252	△ 240	△ 257	△ 26	△ 59	△ 358
(B) 有価証券売買損益	2,143,915	671,042	△ 11,779,564	△ 6,400,041	259,700	△ 1,245,335
売買益	2,147,110	682,002	578,008	15,256	268,772	115,653
売買損	△ 3,195	△ 10,960	△ 12,357,572	△ 6,415,297	△ 9,072	△ 1,360,988
(C) 信託報酬等	△ 230,590	△ 229,521	△ 227,661	△ 188,362	△ 200,189	△ 213,415
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	2,970,600	1,510,446	△ 11,031,801	△ 5,817,962	592,083	△ 923,243
(E) 前期繰越損益金	△ 35,531,833	△ 33,414,039	△ 31,965,919	△ 43,772,618	△ 50,628,051	△ 47,091,828
(F) 追加信託差損益金	71,239,466	70,902,216	68,796,605	68,427,442	68,464,679	63,167,760
(配当等相当額)	( 120,022,988)	( 119,767,022)	( 116,374,974)	( 115,953,308)	( 116,250,007)	( 107,539,765)
(売買損益相当額)	(△ 48,783,522)	(△ 48,864,806)	(△ 47,578,369)	(△ 47,525,866)	(△ 47,785,328)	(△ 44,372,005)
(G) 計 (D+E+F)	38,678,233	38,998,623	25,798,885	18,836,862	18,428,711	15,152,689
(H) 収益分配金	△ 1,075,737	△ 1,072,543	△ 1,041,709	△ 1,037,471	△ 1,039,649	△ 961,188
次期繰越損益金 (G+H)	37,602,496	37,926,080	24,757,176	17,799,391	17,389,062	14,191,501
追加信託差損益金	71,239,466	70,902,216	68,796,605	68,427,442	68,464,679	63,167,760
(配当等相当額)	( 120,022,988)	( 119,767,022)	( 116,374,974)	( 115,953,308)	( 116,250,007)	( 107,539,765)
(売買損益相当額)	(△ 48,783,522)	(△ 48,864,806)	(△ 47,578,369)	(△ 47,525,866)	(△ 47,785,328)	(△ 44,372,005)
分配準備積立金	27,396,439	27,070,255	25,947,017	25,334,427	24,692,783	22,127,704
繰越損益金	△ 61,033,409	△ 60,046,391	△ 69,986,446	△ 75,962,478	△ 75,768,400	△ 71,103,963

(注) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- (1) 第108期首元本額は215,358,753円、第108～113期中追加設定元本額は3,038,750円、第108～113期中一部解約元本額は26,159,886円です。  
 (2) 1口当たり純資産額は、第108期1.1748円、第109期1.1768円、第110期1.1188円、第111期1.0858円、第112期1.0836円、第113期1.0738円です。

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

- (1) 第108期 (自2019年12月21日 至2020年1月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (981,111円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (120,022,988円) 及び分配準備積立金 (27,491,065円) より、分配対象収益は、148,495,164円 (1万口当たり6,902円) であり、うち1,075,737円 (1万口当たり50円) を分配金額としております。

- (2) 第109期 (自2020年1月21日 至2020年2月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (927,930円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (119,767,022円) 及び分配準備積立金 (27,214,868円) より、分配対象収益は、147,909,820円 (1万口当たり6,895円) であり、うち1,072,543円 (1万口当たり50円) を分配金額としております。

- (3) 第110期 (自2020年2月21日 至2020年3月23日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (747,763円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (116,374,974円) 及び分配準備積立金 (26,240,963円) より、分配対象収益は、143,363,700円 (1万口当たり6,881円) であり、うち1,041,709円 (1万口当たり50円) を分配金額としております。

- (4) 第111期 (自2020年3月24日 至2020年4月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (582,079円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (115,953,308円) 及び分配準備積立金 (25,789,819円) より、分配対象収益は、142,325,206円 (1万口当たり6,859円) であり、うち1,037,471円 (1万口当たり50円) を分配金額としております。

- (5) 第112期 (自2020年4月21日 至2020年5月20日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (398,005円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (116,250,007円) 及び分配準備積立金 (25,334,427円) より、分配対象収益は、141,982,439円 (1万口当たり6,828円) であり、うち1,039,649円 (1万口当たり50円) を分配金額としております。

- (6) 第113期 (自2020年5月21日 至2020年6月22日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額 (322,092円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額 (0円)、信託約款に規定される収益調整金 (107,539,765円) 及び分配準備積立金 (22,766,800円) より、分配対象収益は、130,628,657円 (1万口当たり6,795円) であり、うち961,188円 (1万口当たり50円) を分配金額としております。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○分配金のお知らせ

	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
1 万口当たり分配金 (税込み)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

### ◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。



## フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズー テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンドの運用状況について

2019年6月30日決算  
(計算期間：2018年7月1日～2019年6月30日)

テンプレトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース／為替ヘッジなしコース／毎月分配型・為替ヘッジなしコースの投資対象ファンドであるフランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーテンプレトン・グローバル・ボンド・ファンドの決算は年1回（毎年6月末）です。したがって、直前の計算期末である2019年6月30日時点までの運用状況をお知らせします。

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ルクセンブルク籍／外国投資法人／オープンエンド型／米ドル建て <sup>注1</sup>
投資目的	ファンドの主たる投資目的は、インカム・ゲイン、キャピタル・ゲインおよび通貨の利益を総合したトータル・リターンを最大化することです。
主な投資戦略	主として世界各国の政府または政府機関が発行する固定および変動利付債券等に投資することにより、上記の投資目的を達成することを目指します。投資制限の範囲内で社債に投資することができます。また、複数の国によって組織または援助された国際機関（国際復興開発銀行や欧州投資銀行など）が発行する債券にも投資することができます。投資目的のためにデリバティブ取引を行うことができます。デリバティブ取引には、スワップ（金利スワップ、クレジット・デフォルト・スワップ、トータル・リターン・スワップなど）、先渡しおよびクロス先渡し取引（フォワードおよびクロスフォワード）、先物取引（国債先物を含む）、オプションが含まれます。デリバティブ取引により、特定のイールドカーブ、デュレーション、通貨、信用（クレジット）のポジションが負（マイナス）となることがあります。他の証券、資産または通貨の値動きに価格が連動する証券や商品にも投資することができます。純資産総額の10%までの範囲内で債務不履行の状態にある債券を保有する場合があります。また、優先株式や債券から転換されたまたは交換された株式を保有することもあります。新興国、デリバティブ取引、非投資適格および債務不履行の状態にある債券への投資は、高いリスクを伴います。
主な投資制限	デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定しません。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク（米国） 管理会社：フランクリン・テンプレトン・インターナショナル・サービスーズ・エス・イー・アール・エル（ルクセンブルク） 保管銀行：JPMorgan Bank Luxembourg（ルクセンブルク）
費用 <sup>注2</sup>	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.55% 管理会社報酬：年0.20% 保管銀行報酬：年0.01%～年0.14%

(注1) 限定為替ヘッジコースは、投資対象ファンドである「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド」の円建て外国投資証券「JPY限定為替ヘッジ・クラス」に投資します。  
為替ヘッジなしコースおよび毎月分配型・為替ヘッジなしコースは、投資対象ファンドである「テンプレトン・グローバル・ボンド・ファンド」の円建て外国投資証券「JPYクラス」に投資します。

(注2) ファンドが投資を行う「JPY限定為替ヘッジ・クラス」、「JPYクラス」のものです。  
この他に監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズー  
テンプルトン・グローバル・ボンド・ファンド  
損益および純資産変動計算書  
2019年6月30日に終了した計算期間

(米ドル)

<b>期首純資産</b>	<b>15,504,808,485</b>
<b>収益</b>	
債券利息（税引後）	1,009,260,378
預金利息	4,613,190
その他収益	7,896,744
<b>収益合計</b>	<b>1,021,770,312</b>
<b>費用</b>	
運用報酬	104,133,463
管理会社報酬	33,259,193
保管銀行報酬	6,582,382
監査費用	32,018
その他費用	77,538,030
<b>費用合計</b>	<b>221,545,086</b>
関係法人からの費用戻入	(334,761)
<b>純費用合計</b>	<b>221,210,325</b>
<b>投資純収益</b>	<b>800,559,987</b>
投資有価証券売買に係る実現純損失	(331,692,628)
外国為替先渡契約に係る実現純利益	784,553,933
オプション契約に係る実現純利益	1,836,353
外国為替取引に係る実現純損失	(18,066,360)
<b>当期実現利益</b>	<b>1,237,191,285</b>

投資未実現評価益	194,213,829
外国為替先渡契約未実現評価損	(381,595,327)
金利スワップ契約未実現評価損	(429,209,167)
オプション契約未実現評価損	(6,593,212)
外国為替取引未実現評価益	14,545,757
キャピタルゲイン課税引当	9,216,468
	<hr/>
<b>運用による純資産の増加額</b>	<b>637,769,633</b>
<b>元本異動等</b>	
追加設定額	4,285,679,071
解約額	(4,117,160,076)
追加設定・一部解約時の収益調整	1,424,113
	<hr/>
	169,943,108
分配金額	(1,066,952,400)
	<hr/>
<b>元本異動による純資産の減少額</b>	<b>(897,009,292)</b>
<b>期末純資産</b>	<b>15,245,568,826</b>
	<hr/> <hr/>

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 組入資産の明細

2019年6月30日現在

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
	その他規制市場で取引される譲渡可能有価証券				
	国債証券および地方債証券				
795,407,720,000	Korea Treasury Bond, senior note, 2.00%, 03/10/21	KOR	KRW	693,394,294	4.55
2,219,520	Notas do Tesouro Nacional, 10.00%, 01/01/27	BRA	BRL	662,923,855	4.35
1,658,919	Notas do Tesouro Nacional, 10.00%, 01/01/23	BRA	BRL	474,731,133	3.11
71,269,800	Government of Mexico, senior note, M, 7.25%, 12/09/21	MEX	MXN	369,752,053	2.43
407,303,000,000	Korea Treasury Bond, senior note, 1.375%, 09/10/21	KOR	KRW	351,160,558	2.30
65,692,600	Government of Mexico, senior bond, M, 6.50%, 06/09/22	MEX	MXN	333,840,489	2.19
344,550,300,000	Korea Treasury Bond, senior bond, 4.25%, 06/10/21	KOR	KRW	313,518,618	2.06
952,328	Notas do Tesouro Nacional, 10.00%, 01/01/25	BRA	BRL	279,751,305	1.84
3,639,789,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR53, 8.25%, 07/15/21	IDN	IDR	265,239,068	1.74
17,094,000,000	Government of India, senior note, 7.68%, 12/15/23	IND	INR	257,666,947	1.69
944,953	Letra Tesouro Nacional, Strip, 07/01/20	BRA	BRL	232,242,112	1.52
2,310,430,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR46, 9.50%, 07/15/23	IDN	IDR	178,243,667	1.17
2,258,246,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR56, 8.375%, 09/15/26	IDN	IDR	169,981,790	1.11
590,250	Notas do Tesouro Nacional, 10.00%, 01/01/21	BRA	BRL	162,060,477	1.06
9,658,000,000	Government of India, senior note, 8.83%, 11/25/23	IND	INR	151,176,065	0.99
9,881,000,000	Government of India, senior bond, 8.20%, 02/15/22	IND	INR	149,183,754	0.98
1,646,800,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR40, 11.00%, 09/15/25	IDN	IDR	138,866,245	0.91
26,924,300	Government of Mexico, senior bond, M, 6.50%, 06/10/21	MEX	MXN	137,663,188	0.90
7,882,350,000	Argentine Bonos del Tesoro, senior note, 15.50%, 10/17/26	ARG	ARS	129,871,056	0.85
8,513,700,000	Government of India, senior note, 7.80%, 04/11/21	IND	INR	126,529,387	0.83
1,654,103,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR70, 8.375%, 03/15/24	IDN	IDR	124,155,813	0.81
7,795,000,000	Government of India, senior bond, 8.13%, 09/21/22	IND	INR	118,268,069	0.78
7,915,400,000	Government of India, senior note, 6.79%, 05/15/27	IND	INR	113,320,078	0.74
6,975,100,000	Government of India, senior note, 7.16%, 05/20/23	IND	INR	102,631,591	0.67
1,800,600,000	Inter-American Development Bank, senior bond, 7.50%, 12/05/24	SP	MXN	93,407,315	0.61
247,187,000,000	Titulos de Tesoreria, senior bond, B, 10.00%, 07/24/24	COL	COP	93,136,329	0.61
394,870	Letra Tesouro Nacional, Strip, 07/01/21	BRA	BRL	91,277,313	0.60
468,790,000	Government of Ghana, senior bond, 19.75%, 03/15/32	GHA	GHS	85,422,085	0.56
468,790,000	Government of Ghana, 19.00%, 11/02/26	GHA	GHS	84,952,000	0.56
4,715,255,000	Argentine Bonos del Tesoro, 16.00%, 10/17/23	ARG	ARS	79,874,252	0.52
4,910,100,000	Argentine Bonos del Tesoro, 18.20%, 10/03/21	ARG	ARS	78,540,859	0.52
975,674,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR31, 11.00%, 11/15/20	IDN	IDR	73,219,553	0.48
80,970,000,000	Korea Monetary Stabilization Bond, senior note, 2.05%, 10/05/20	KOR	KRW	70,426,556	0.46
4,317,000,000	Government of India, senior bond, 8.08%, 08/02/22	IND	INR	65,255,259	0.43

フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・グローバル・ボンド・ファンド

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
4,151,400,000	Government of India, senior bond, 8.35%, 05/14/22	IND	INR	63,112,720	0.41
9,978,900	Government of Mexico, senior bond, M, 8.00%, 12/07/23	MEX	MXN	53,127,890	0.35
8,646,500	Government of Mexico, senior bond, M 20, 10.00%, 12/05/24	MEX	MXN	50,257,930	0.33
601,537,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR34, 12.80%, 06/15/21	IDN	IDR	47,403,401	0.31
2,898,000,000	Government of India, senior bond, 9.15%, 11/14/24	IND	INR	46,142,297	0.30
139,388,600,000	Titulos de Tesoreria, senior bond, B, 6.00%, 04/28/28	COL	COP	43,571,622	0.29
456,738,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR35, 12.90%, 06/15/22	IDN	IDR	37,544,503	0.25
2,385,000,000	Government of India, senior note, 8.79%, 11/08/21	IND	INR	36,342,973	0.24
436,318,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR61, 7.00%, 05/15/22	IDN	IDR	31,114,404	0.20
156,260,000	Government of Ghana, 19.75%, 03/25/24	GHA	GHS	29,182,548	0.19
156,260,000	Government of Ghana, 18.75%, 01/24/22	GHA	GHS	28,369,104	0.19
1,789,000,000	Government of India, senior note, 8.15%, 06/11/22	IND	INR	27,086,420	0.18
357,293,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR63, 5.625%, 05/15/23	IDN	IDR	24,359,915	0.16
68,795,000,000	Titulos de Tesoreria, senior bond, B, 11.00%, 07/24/20	COL	COP	22,875,142	0.15
69,274,000,000	Titulos de Tesoreria, senior bond, B, 7.00%, 05/04/22	COL	COP	22,747,981	0.15
4,102,089	Mexican Udibonos, Index Linked, 2.50%, 12/10/20	MEX	MXN	21,108,438	0.14
59,093,700,000	Titulos de Tesoreria, B, 7.75%, 09/18/30	COL	COP	20,722,341	0.14
1,023,000,000	Government of India, senior note, 6.84%, 12/19/22	IND	INR	14,953,901	0.10
181,396,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR43, 10.25%, 07/15/22	IDN	IDR	14,051,370	0.09
132,795,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR39, 11.75%, 08/15/23	IDN	IDR	11,011,335	0.07
126,260,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR44, 10.00%, 09/15/24	IDN	IDR	10,073,982	0.07
367,385,000	Government of Argentina, FRN, 52.006%, 04/03/22 †	ARG	ARS	7,429,779	0.05
17,991,000,000	Government of Colombia, senior bond, 7.75%, 04/14/21	COL	COP	5,860,093	0.04
214,800,000	Argentina Treasury Bill, Strip, 07/31/20	ARG	ARS	4,896,408	0.03
96,540,000	Government of the Philippines, senior note, 3.375%, 08/20/20	PHL	PHP	1,860,284	0.01
4,346,000,000	Government of Colombia, senior bond, 9.85%, 06/28/27	COL	COP	1,706,904	0.01
4,920,000	Government of Ghana, 16.25%, 05/17/21	GHA	GHS	865,376	0.01
2,728,000,000	Government of Colombia, senior bond, 4.375%, 03/21/23	COL	COP	824,912	0.01
4,760,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR52, 10.50%, 08/15/30	IDN	IDR	410,517	0.00
1,220,000	Government of Ghana, 24.75%, 07/19/21	GHA	GHS	245,120	0.00
1,170,000	Government of Ghana, senior note, 16.50%, 03/22/21	GHA	GHS	207,202	0.00
870,000	Government of Ghana, 24.75%, 03/01/21	GHA	GHS	172,335	0.00
460,000	Government of Ghana, 24.50%, 06/21/21	GHA	GHS	91,869	0.00
320,000	Government of Ghana, senior note, 18.25%, 09/21/20	GHA	GHS	58,563	0.00
250,000	Government of Ghana, 17.60%, 11/28/22	GHA	GHS	44,767	0.00
				<b>7,531,517,479</b>	<b>49.40</b>

# FRANKLIN TEMPLETON®

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
	1年以内に償還する証券				
126,133,900	Government of Mexico, senior note, M, 5.00%, 12/11/19	MEX	MXN	647,966,696	4.25
485,400,000	FHLB, 0.00%, 07/12/19	USA	USD	485,075,185	3.18
383,500,000	FHLB, 0.00%, 07/03/19	USA	USD	383,453,340	2.52
336,410,000	U.S. Treasury Bill, 0.00%, 08/29/19	USA	USD	335,256,322	2.20
333,000,000	FHLB, 0.00%, 07/08/19	USA	USD	332,858,199	2.18
305,000,000	FHLB, 0.00%, 07/09/19	USA	USD	304,851,566	2.00
1,133,170	Letra Tesouro Nacional, Strip, 07/01/19	BRA	BRL	294,716,440	1.93
334,237,000,000	Korea Treasury Bond, senior note, 1.75%, 06/10/20	KOR	KRW	289,541,959	1.90
286,500,000	FHLB, 0.00%, 07/10/19	USA	USD	286,343,141	1.88
492,550,240	Mexico Treasury Bill, 0.00%, 04/02/20	MEX	MXN	241,469,883	1.59
236,000,000	FHLB, 0.00%, 07/01/19	USA	USD	236,000,000	1.55
43,992,100	Government of Mexico, senior bond, M, 8.00%, 06/11/20	MEX	MXN	229,529,129	1.51
454,658,710	Mexico Treasury Bill, 0.00%, 02/27/20	MEX	MXN	224,409,003	1.47
205,000,000	FHLB, 0.00%, 07/11/19	USA	USD	204,875,292	1.34
204,621,000,000	Korea Treasury Bond, senior note, 1.25%, 12/10/19	KOR	KRW	176,677,015	1.16
157,000,000	FHLB, 0.00%, 07/05/19	USA	USD	156,961,797	1.03
306,269,750	Mexico Treasury Bill, 0.00%, 09/12/19	MEX	MXN	156,724,042	1.03
152,690,000,000	Korea Monetary Stabilization Bond, senior note, 0.00%, 09/17/19	KOR	KRW	131,537,976	0.86
146,345,930,000	Korea Monetary Stabilization Bond, senior note, 2.16%, 02/02/20	KOR	KRW	126,946,562	0.83
113,000,000	FHLB, 0.00%, 07/02/19	USA	USD	112,993,126	0.74
226,187,220	Mexico Treasury Bill, 0.00%, 01/02/20	MEX	MXN	112,943,438	0.74
3,451,434,100	Argentina Treasury Bill, 0.00%, 09/30/19	ARG	ARS	108,723,018	0.71
117,460,000,000	Korea Monetary Stabilization Bond, senior note, 1.87%, 11/09/19	KOR	KRW	101,638,831	0.67
113,130,000,000	Korea Treasury Bond, senior note, 2.00%, 03/10/20	KOR	KRW	98,124,980	0.64
173,477,780	Mexico Treasury Bill, 0.00%, 07/18/19	MEX	MXN	89,902,862	0.59
78,567,000,000	Korea Monetary Stabilization Bond, senior note, 2.14%, 06/02/20	KOR	KRW	68,277,654	0.45
2,046,727,000	Argentina Treasury Bill, 0.00%, 10/31/19	ARG	ARS	61,045,994	0.40
67,338,000,000	Korea Monetary Stabilization Bond, senior note, 2.06%, 12/02/19	KOR	KRW	58,326,169	0.38
67,356,000,000	Korea Monetary Stabilization Bond, senior note, 1.80%, 09/09/19	KOR	KRW	58,245,528	0.38
3,415,000,000	Government of India, senior note, 8.27%, 06/09/20	IND	INR	50,482,318	0.33
38,170,000,000	Korea Monetary Stabilization Bond, senior note, 1.715%, 05/09/20	KOR	KRW	33,036,841	0.22
453,515,000,000	Government of Indonesia, senior bond, FR36, 11.50%, 09/15/19	IDN	IDR	32,515,665	0.21
33,017,000	Government of Argentina, senior note, 4.50%, 02/13/20	ARG	ARS	28,559,705	0.19
1,080,376,100	Argentina Treasury Bill, 0.00%, 07/19/19	ARG	ARS	27,543,487	0.18
758,923,000	Argentina Treasury Bill, Strip, 04/30/20	ARG	ARS	20,306,264	0.13
636,390,400	Argentina Treasury Bill, 0.00%, 07/31/19	ARG	ARS	16,617,609	0.11
28,833,580	Mexico Treasury Bill, 0.00%, 08/01/19	MEX	MXN	14,895,225	0.10

フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズーテンブルトン・グローバル・ボンド・ファンド

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
30,528,000,000	Titulos de Tesoreria, senior note, B, 7.00%, 09/11/19	COL	COP	9,550,239	0.06
10,967,000,000	Korea Treasury Bond, senior note, 2.75%, 09/10/19	KOR	KRW	9,501,554	0.06
17,672,240	Mexico Treasury Bill, 0.00%, 11/07/19	MEX	MXN	8,933,160	0.06
56,450,000	Government of Argentina, FRN, 42.819%, 06/21/20 †	ARG	ARS	1,295,134	0.01
21,275,000	Government of Argentina, Index Linked, 4.00%, 03/06/20	ARG	ARS	686,547	0.01
3,530,000	Government of Ghana, senior note, 21.50%, 03/09/20	GHA	GHS	663,550	0.01
4,685,000	Argentina Treasury Bill, 0.00%, 02/28/20	ARG	ARS	108,552	0.00
340,000	Government of Ghana, senior note, 18.50%, 06/01/20	GHA	GHS	62,453	0.00
				6,370,173,450	41.79
	公社債計			13,901,690,929	91.19
	小計			13,901,690,929	91.19
	合計			13,901,690,929	91.19

† Floating Rates are indicated as at June 30, 2019

## 日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定） の運用状況について

（計算期間：2018年7月24日～2019年7月22日）

「テンプレトン世界債券ファンド 限定為替ヘッジコース」、「テンプレトン世界債券ファンド 為替ヘッジなしコース」、「テンプレトン世界債券ファンド 毎月分配型・為替ヘッジなしコース」が組入れを行っている投資信託「日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）」の決算は、年1回（毎年7月22日）です。したがって、直前の計算期末である2019年7月22日時点までの運用状況をお知らせします。

### ●日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）

商品分類	追加型株式投資信託／バランス型	
信託期間	無期限	
運用方針	NOMURA-BPI 短期をベンチマークとし、これを上回る投資成果をめざします。主としてマザーファンドを通じて、わが国の公社債・金融商品に投資し、信託財産の安定的な成長をめざして安定運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。	
主要投資対象	ベビー ファンド	日本短期債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザー ファンド	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビー ファンド	外貨建資産への投資は行いません。
	マザー ファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	
信託報酬率	年0.143%（税抜0.13%）	
関係法人	委託会社：三菱UFJ国際投信株式会社 受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社	



## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	額			NOMURA-BPI短期		債券組入比率	債券先物比率	純資産額	
		税金	分配	み金	期騰落	中率				期騰落
	円	円	円	円	%	%	%	%	百万円	
8期(2015年7月22日)	10,495		0		0.1	235.80	0.2	98.5	—	103
9期(2016年7月22日)	10,534		0		0.4	236.97	0.5	94.1	—	135
10期(2017年7月24日)	10,532		0		△0.0	235.85	△0.5	97.0	—	153
11期(2018年7月23日)	10,543		0		0.1	235.65	△0.1	97.4	—	160
12期(2019年7月22日)	10,546		0		0.0	235.76	0.0	98.1	—	157

(注) NOMURA-BPI短期とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の残存期間1年から3年の債券で構成されている債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		NOMURA-BPI短期		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2018年7月23日	円 10,543	% —	235.65	% —	% 97.4	% —
7月末	10,546	0.0	235.69	0.0	95.0	—
8月末	10,544	0.0	235.65	0.0	95.8	—
9月末	10,544	0.0	235.64	△0.0	96.7	—
10月末	10,549	0.1	235.71	0.0	96.1	—
11月末	10,543	0.0	235.71	0.0	91.8	—
12月末	10,538	△0.0	235.75	0.0	92.0	—
2019年1月末	10,533	△0.1	235.80	0.1	96.9	—
2月末	10,537	△0.1	235.73	0.0	96.5	—
3月末	10,539	△0.0	235.82	0.1	95.6	—
4月末	10,538	△0.0	235.70	0.0	96.0	—
5月末	10,542	△0.0	235.74	0.0	96.5	—
6月末	10,549	0.1	235.87	0.1	98.9	—
(期 末) 2019年7月22日	円 10,546	% 0.0	235.76	% 0.0	% 98.1	% —

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

2018年7月24日～2019年7月22日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	15	0.140	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(11)	(0.108)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(1)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	15	0.143	

期中の平均基準価額は、10,542円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○組入資産の明細

(2019年7月22日現在)

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
日本短期債券マザーファンド	千口 143,349	千口 140,387	千円 157,529

## ○投資信託財産の構成

(2019年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日本短期債券マザーファンド	千円 157,529	% 99.7
コール・ローン等、その他	506	0.3
投資信託財産総額	158,035	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年7月22日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	158,035,295
コール・ローン等	505,312
日本短期債券マザーファンド(評価額)	157,529,294
未収入金	689
(B) 負債	113,668
未払信託報酬	111,486
その他未払費用	2,182
(C) 純資産総額(A - B)	157,921,627
元本	149,752,007
次期繰越損益金	8,169,620
(D) 受益権総口数	149,752,007口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,546円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 152,692,019円  
 期中追加設定元本額 1,232,006円  
 期中一部解約元本額 4,172,018円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0546円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2018年7月24日～ 2019年7月22日
費用控除後の配当等収益額	635,876円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	8,887,111円
分配準備積立金額	5,164,324円
当ファンドの分配対象収益額	14,687,311円
1万口当たり収益分配対象額	980円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

## ○損益の状況（2018年7月24日～2019年7月22日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 98
支払利息	△ 98
(B) 有価証券売買損益	271,725
売買益	273,993
売買損	△ 2,268
(C) 信託報酬等	△ 230,176
(D) 当期損益金(A + B + C)	41,451
(E) 前期繰越損益金	2,221,636
(F) 追加信託差損益金	5,906,533
(配当等相当額)	( 8,886,512)
(売買損益相当額)	(△2,979,979)
(G) 計(D + E + F)	8,169,620
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	8,169,620
追加信託差損益金	5,906,533
(配当等相当額)	( 8,887,111)
(売買損益相当額)	(△2,980,578)
分配準備積立金	5,800,200
繰越損益金	△3,537,113

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 日本短期債券マザーファンド

決算日2019年7月22日

(計算期間：2018年7月24日～2019年7月22日)

運用方針	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とし、ポートフォリオのデュレーション調整と銘柄選択による収益獲得をめざして運用を行います。ポートフォリオのデュレーションはベンチマークの平均を中心に調整します。デュレーション調整は主としてファンダメンタルズ分析に基づく中期的な金利見通しに沿って行います。銘柄選択は信用リスクと金利スプレッドを定量的・定性的に分析して行います。NOMURA-BPI短期をベンチマークとし、同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債・金融商品を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。
委託会社	三菱UFJ国際投信株式会社

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		NOMURA-BPI短期		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰 落 中 率		騰 落 中 率			
17期(2015年7月22日)	11,106	0.3	235.80	0.2	98.5	—	7,875
18期(2016年7月22日)	11,161	0.5	236.97	0.5	94.1	—	2,486
19期(2017年7月24日)	11,175	0.1	235.85	△0.5	97.3	—	2,281
20期(2018年7月23日)	11,202	0.2	235.65	△0.1	97.6	—	2,061
21期(2019年7月22日)	11,221	0.2	235.76	0.0	98.3	—	1,840

(注) NOMURA-BPI短期とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の残存期間1年から3年の債券で構成されている債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		NOMURA-BPI短期		債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2018年 7月23日	11,202	—	235.65	—	97.6	—
7 月 末	11,206	0.0	235.69	0.0	95.3	—
8 月 末	11,205	0.0	235.65	0.0	96.0	—
9 月 末	11,206	0.0	235.64	△0.0	97.0	—
10月 末	11,213	0.1	235.71	0.0	96.4	—
11月 末	11,208	0.1	235.71	0.0	92.0	—
12月 末	11,204	0.0	235.75	0.0	92.3	—
2019年 1月 末	11,200	△0.0	235.80	0.1	97.2	—
2 月 末	11,206	0.0	235.73	0.0	96.8	—
3 月 末	11,209	0.1	235.82	0.1	95.9	—
4 月 末	11,209	0.1	235.70	0.0	96.3	—
5 月 末	11,215	0.1	235.74	0.0	96.8	—
6 月 末	11,224	0.2	235.87	0.1	99.2	—
(期 末) 2019年 7月22日	11,221	0.2	235.76	0.0	98.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年7月24日～2019年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、11,209円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○組入資産の明細

(2019年7月22日現在)

### 国内公社債

#### (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券	1,800,000 (1,800,000)	1,809,708 (1,809,708)	98.3 (98.3)	— (—)	— (—)	38.1 (38.1)	60.2 (60.2)
合 計	1,800,000 (1,800,000)	1,809,708 (1,809,708)	98.3 (98.3)	— (—)	— (—)	38.1 (38.1)	60.2 (60.2)

(注) ( )内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。



## (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末		
	利 率	額 面 金 額	評 価 額
普通社債券	%	千円	千円
第527回関西電力	0.28	100,000	100,424
第50回日本電気	0.29	100,000	100,375
第31回ソニー	0.23	100,000	100,247
第1回三井住友トラスト・パナソニックファイナンス	0.12	100,000	100,108
第22回あおぞら銀行	0.1	100,000	99,930
第28回三菱東京UFJ銀行（劣後特約付）	1.56	100,000	102,123
第6回りそな銀行（劣後特約付）	2.084	100,000	101,227
第23回三井住友銀行（劣後特約付）	1.61	100,000	102,105
第5回イオンフィナンシャルサービス	0.23	100,000	100,087
第75回アコム	0.309	100,000	100,127
第27回大和証券グループ本社	0.4	100,000	100,752
第44回野村ホールディングス	0.723	100,000	100,977
第29回相鉄ホールディングス	0.91	100,000	100,765
第4回クレディ・アグリコル・エス・エー円貨社債（2014）	0.425	100,000	100,111
第2回マラヤン・バンキング（2015）	0.509	100,000	100,236
第19回ルノー	0.36	100,000	99,774
第11回ウエストパック・バンキング・コーポレーション	0.3	100,000	100,271
第8回ケーティー	0.3	100,000	100,069
合 計		1,800,000	1,809,708

## ○投資信託財産の構成

(2019年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,809,708	% 98.3
コール・ローン等、その他	30,761	1.7
投資信託財産総額	1,840,469	100.0

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,840,469,757
コール・ローン等	28,711,160
公社債(評価額)	1,809,708,000
未収利息	1,826,168
前払費用	224,429
(B) 負債	159,255
未払解約金	159,129
未払利息	56
その他未払費用	70
(C) 純資産総額(A-B)	1,840,310,502
元本	1,640,019,714
次期繰越損益金	200,290,788
(D) 受益権総口数	1,640,019,714口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,221円

### <注記事項>

- ①期首元本額 1,840,487,569円  
 期中追加設定元本額 199,317,422円  
 期中一部解約元本額 399,785,277円  
 また、1口当たり純資産額は、期末11,221円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| 三菱UFJ 積立ファンド(日本バランス型)     | 1,175,181,857円 |
| 三菱UFJ 国内バランス20            | 290,457,315円   |
| 日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)     | 140,387,928円   |
| 日本短期債券ファンドVA(適格機関投資家限定)   | 25,105,446円    |
| 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド | 8,887,168円     |
| 合計                        | 1,640,019,714円 |

## ○損益の状況 (2018年7月24日～2019年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	10,714,161
受取利息	10,763,089
支払利息	△ 48,928
(B) 有価証券売買損益	△ 7,361,300
売買益	1,893,700
売買損	△ 9,255,000
(C) 保管費用等	△ 1,337
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,351,524
(E) 前期繰越損益金	221,293,976
(F) 追加信託差損益金	24,069,827
(G) 解約差損益金	△ 48,424,539
(H) 計(D+E+F+G)	200,290,788
次期繰越損益金(H)	200,290,788

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。



# FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプレトンは、創業以来  
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。  
創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr.は、  
“With money and financial planning, prudence comes first.”  
(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)  
というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、  
アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、  
そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。  
ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、  
ご投資家の皆様にとって、  
フランクリン・テンプレトンの資産運用サービスに対する  
信頼と安心の象徴となっております。